

# WEEKLY REPORT

## < 5大奉仕委員長方針発表 >

青少年奉仕委員会 三村藤明委員長

皆様、こんにちは。

今年度の青少年奉仕委員長を仰せつかりました三村です。

副委員長は鈴木悦郎会員、委員は織田証（さとし）会員の3名が今年度の構成です。

今年度の活動目標は、

「青少年が新たな出会いや経験を積むことによって、更なる成長を遂げられる機会を提供し、次世代のリーダーの育成を目指す。」ということ。

また活動計画としては、

- 1、社会奉仕委員会と連携して、青少年育成および支援の機会を設ける。
- 2、松戸市立小金小学校と継続している「わくわく探検隊」の支援を行う。
- 3、RYLAへの参加者を募り、若手リーダーの育成を目指す。
- 4、地域の子どもの会の運動会等の賞品提供等の支援を行う。

の4つを考えております。

大川会長および野澤社会奉仕委員長のご報告にもあったとおり、去る9月14日、社会奉仕委員会への協賛という形で、栗ヶ沢小学校のなかよし学級の子どもの梨狩り体験を実行しました。高橋ガバナー補佐にも、ご参加頂きました。後日、子ども達や親御さんからも、温かいお礼のお手紙や写真を頂きました。あれだけ喜んでいただけののですから、是非、来年度も継続して行いたいと思います。いかにもロータリーらしい活動の一つだと実感しました。

また、10月29日の土曜日には、小金小学校の生徒さんたちの「わくわく探検隊」の応援に行ってきました。この活動は、鈴木会員がここ20年以上継続している奉仕活動です。小金の街は、歴史的にいわれのある施設がたくさんありますが、地域の小学校の子供達が、グループに分かれて、施設を探検し、その場所で、施設や歴史にまつわる子供達が考えたクイズが出題されてそれを解答して回るという企画です。問題を考える子供達も、それに解答して、さらに街を深く学んでいく子供達も、みな楽しそうでした。地元を愛する気持ちと、新たな発見をする喜びとを経験できる、貴重な活動だと思いました。私達は、会長、幹事とともに参加したのですが、一緒に小金の街を探検できて楽しかったです。来年も、是非継続したいと思います。

さらに今年度は、久しぶりにRYLAが実行されるそうです。2023年の2月18日、19日の1泊2日の研修ですが、小林会員の会社の方から参加の申し出を頂いております。貴重な体験をしつつ、若者に大いに成長して頂きたいと思っています。

日本は人口減少に加えて、少子高齢化が急速に進んでいます。その中で、次世代のリーダーに育つような若者を育成していくことはとても大切なことだと思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。



大川会長や各委員長の発表の後、小倉ガバナーによる意見要望発表が行われました。



《会報編集委員》岡本真理子・関 征啓・小澤盛明・平野崇広

社会奉仕基金 3,115円

Rotary 2022-2023年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報

## ガバナー公式訪問



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか



例 会 出 席 率 7 7 . 1 %

## 第2371回 例会 2022年11月16日(水)

- 国際ロータリー会長 ジェニファー・E・ジョンズ
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 小倉 純夫
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 高橋 竜一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明
- TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大塚 精一
- Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第2371回 例会プログラム>

司会 野澤新之助会員

- 12:30 例会開始時まで各自食事
- 12:50 点鐘 大川高明会長  
ロータリーソング静聴 【♪君が代 ♪奉仕の理想】
- 12:53 お客様紹介 小澤直之会長エレクト
- 12:55 会長挨拶・報告 大川高明会長  
幹事報告 大塚精一幹事
- 13:00 ガバナー卓話 国際ロータリー第2790地区2022-23年度ガバナー 小倉純夫
- 13:37 【委員会報告】
- 社会奉仕委員会 野澤新之助委員長  
本日の社会奉仕基金発表
  - ニコニコ委員会 中原光男委員  
本日のニコニコ発表
  - 出席親睦委員会 平田洋一委員長  
出席率発表
- 13:40 点鐘 大川高明会長



### クラブ協議会

小倉ガバナーより5大奉仕委員長方針発表への総評

### <会長挨拶>

皆さんこんにちは。

本日はガバナー公式訪問です。小倉ガバナー本日はありがとうございます。随行者としておいで頂いた織田信幸地区幹事長、佐藤建一地区幹事大変ありがとうございます。また、ご列席頂いている高橋ガバナー補佐にもお礼申し上げます。そしてメイクアップでお越しの松戸東ロータリークラブ村田純一様ようこそおいで頂きました。

この後小倉ガバナーの貴重な卓話がございます。また例会終了後のクラブ協議会においてもご指導よろしくお願い致します。

会長として本年度の松戸北ロータリークラブ方針は

1. 行動計画の策定
2. メインとなる奉仕活動の決定
3. 会員の親睦を深める
4. 会員増強
5. 一人ひとりリーダーシップを発揮する
6. 地域社会に受け入れられるクラブづくり
7. 創立50周年記念式典

以上7項目です。この後のクラブ協議会で現状報告させていただきます。

大川高明会長



次ページへ続く

# WEEKLY REPORT

### ○実績

小学校人数 児童17名 先生7名 計24名

会員参加者 17名 ガバナー補佐 補佐幹事 2名

### ○結果

打ち合わせの甲斐あり、滞りなく終えることができた。

### ○感想

梨狩り体験で栗ヶ沢小学校の子供たちの楽しそうな姿、帰りのバスで手を振る子どもたち、疲れて眠る姿などを見て、充実した時間を共感できたと思います。年度が始まってから急遽対応していただいた栗ヶ沢小学校の先生方に感謝しつつ併せて当クラブの包容力、瞬発力、会員の熱意を強く感じました。

### ○今回行った奉仕事業を継続事業とするための課題

・支援内容 お手伝いする内容の改善

芋ほりはクラブで芋をつくるのが支援事業の一環であり、当日は見守るだけでも問題はなかった。梨は他の商品を損傷予防するためにも目と手が必要となります。その為梨狩り体験は児童とクラブ会員が1対1のペアとなりサポートする支援事業です。不足点や改善すべき点がないか話し合いさらに良いものへとしていきます。

・参加校数 限定的で行った1校をこれまでの芋ほり同様参加校を増やすのか

・運営方法 (人員配置 連絡スケジュール 雨天時対応 会員用駐車場など)

・地区補助金申請

・事業予算 (バス代 なし園代など)

このように協議することは幾つもあります。それに加え学校の年間スケジュールに組み込んでいただくには事前に予定や内容をお知らせし大まかな合意を得る必要があります。次年度の計画は2月頃に立てるようですので、クラブ内でしっかりと話し合い結論を出して、2月までに学校側に提案できるように取り組んで参ります。

○その他事業 引き続き検討していきます。

### <5大奉仕委員長方針発表>

国際奉仕委員会 関征啓委員長

皆さんこんにちは。本年度国際奉仕委員長を仰せつかりました関です。副委員長には平田会員、委員には小澤盛明会員の三名で運営して参りますので宜しくお願い致します。



本年度の目標ですが、  
<コロナ共存時代の中、今後継続的にできる国際奉仕貢献をクラブ総意で作るきっかけを作ります。>  
とさせていただきます。

今現在海外渡航は難しいのが実情であるので、できることからやっという思いこの目標にしました。

<活動計画>と致しましては、

- 1・自クラブの先輩方に卓話を依頼し、クラブ内で勉強会を開催する。
- 2・他クラブが何をしているか情報収集をします。

以前は海外に行けたと思いますが、昨今こんな時世ですので何か考えることから始めればいかと思ひまして情報を集める所から始めたいと思ひます。委員で集めるよりは皆様のお力をお借りして情報収集した方が確実に情報が集まります。ですので、一緒に考えて頂きたいと思ひますのでどうぞ宜しくお願い致します。

# WEEKLY REPORT

## < 5大奉仕委員長方針発表 >

職業奉仕委員会 大川隆永委員長

<メンバー> 委員長 大川隆永  
副委員長 岡本真理子  
委員 三村藤明



### <目標>

ロータリーの目的第2にある様にクラブ会員各自が職業上の高い倫理基準を保ち、各自の職業をより高潔なものにするために、以下の活動を行ってまいります。

### <活動計画>

1. 職業奉仕に関する勉強会の開催（地区への卓話依頼、ビデオ学習等）⇒1月25日（水）地区の職業奉仕委員による卓話を実施します。
2. 講師例会の開催（会員増強委員会と共同開催）  
⇒会員増強委員会と協議の上、3月8日（水）実施予定。

## < 5大奉仕委員長方針発表 >

社会奉仕委員会 野澤新之助委員長

本年度活動計画として

目標 ダイバーシティA.C千葉への支援継続と新規奉仕活動の実施



活動計画 昨年行った奉仕事業フォーラムをもとに候補となった『クリーン作戦』『いも掘り』の実現に向けて具体的計画を委員会で話し、それを理事会、クラブで協議し実現への足掛かりとしていきます。と計画書へ記載。

それを踏まえてまず初めにダイバーシティA.C千葉へ支援を行いました。（令和4年7月13日練習場にて水筒の寄贈をメンバー分）続いて新規奉仕事業の実施として取り組んだものは、市内小学校なかよし学級の児童への梨狩り体験支援です。以下のような目的を掲げました。

- 目的 ①芋掘りに代わる奉仕活動の試み  
クラブの象徴的奉仕事業 芋ほり体験の休止から3年（2018.10.10実施）新たな奉仕事業の継続に向け候補にするため実施計画。
- ②地元松戸のアピールと青少年育成  
二十世紀梨の発祥の地、松戸。梨の生産量1位の千葉県。名産の梨を収穫体験してもらうことで松戸をアピールすると共に青少年の育成へのお手伝いを行う。ロータリーの友などで活動を広く認知してもらうこともできる。
- ③地区第1スローガンへの協調  
2022-23年度小倉純夫ガバナーが掲げる地区第1スローガン“ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！”に合致する千葉（松戸）にポイントを置いた奉仕事業を実現できる。実現に向けてクラブ理事会、委員会などで議論を行い、担当教師とも打ち合わせを行った。

下見（8/31）を栗ヶ沢小学校先生と共に行い、当日予想される問題点を現地視察によって解消していきました。例えばお手洗いの場所は園内にあることの確認や、車椅子対応についても平坦の為可能ではあるが畑を走行するので、雑巾などの用意が必要なこと、梨は両手で持って上に持ち上げると採れることなどです。

次ページへ続く

# WEEKLY REPORT

一件ご報告です。先月手術され自宅療養中の豊島会員のお見舞いに大塚幹事と行って参りました。とてもお元気そうでゴルフも早くやりたいと言っておられるほど元気そうでした。クラブとしても豊島会員の年内の復帰を願っております。

## <幹事報告>

大塚精一幹事

改めまして、こんにちは。幹事報告を申し上げます。  
3点ほどあります。



- ①第1点目は第33回国際交流パーティーについて（ご招待）  
公益財団法人松戸市国際交流協会  
令和4年12月11日（日）13:10-15:00  
森のホール21 4Fレスプションホール
- ②第31回外国人日本語スピーチコンテストへのご協賛について（依頼）  
公益財団法人松戸市国際交流協会  
令和5年2月18日（土）13:00開会 市民劇場ホール
- ③例会臨時変更のお知らせ 松戸西ロータリークラブ  
12月6日 → 12月1日に変更  
12月20日 → クリスマス家族例会に変更  
12月27日 → 12月23日夜間移動例会に変更  
以上、幹事報告とさせていただきます。

## <ガバナー卓話>

国際ロータリー第2790地区2022-23年度ガバナー 小倉純夫

これからのロータリーを考える～本年度RIテーマと地区活動方針について～



1. 本年度RIテーマと地区活動方針について  
・2022年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏（RI初の女性会長）は本年度テーマを IMAGINE ROTARY（イマジン ロータリー）として、「より良い未来をイマジン（想像）し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。  
**「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！」**  
・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第2スローガンとする。ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)
2. ガバナーの任務・役割について  
・クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為のDLP, CLPの活用→クラブ、会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討（ビジョンと行動計画）  
・グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと  
地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築  
職業奉仕の大切さ（四つのテスト）クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認  
例会は心のオアシス（佐藤千寿氏）

次ページへ続く

## WEEKLY REPORT

- ・コロナ禍の中でのロータリー活動（パンデミックの教訓）  
2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず（第7波の到来）  
→クラブ例会・行事等の中止（又はオンライン化）→親睦奉仕活動の停滞、会員の減少→最近の感染者激増→コロナとの共生（会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討）
3. ロータリーの歴史を振り返る
- ・1905年→親睦と相互扶助から出発（一業種一会員制）→社会奉仕の考え→四（五）大奉仕へ
  - ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り（ロータリーの友6頁）
  - ・ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方セントルイス大会決議23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立
  - ・ロータリーの魅力とは一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」  
(Enter to Learn, Go forth to Serve)  
例会（親睦）→出会い、交流（切磋琢磨）→人間としての成長＝信用→安定した経営奉の実践
  - ・日本のロータリーは周回遅れか？（ガラパゴス化）  
Vocational Service（職業奉仕）に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」
4. ロータリーの変化とその対応
- ・2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める
  - ・ロータリーのライオンズ化（団体寄付中心）I serveからWe serveへ
  - ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用  
{例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
  - ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認  
メイクアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ローターアクトクラブにRI加盟を認める
  - ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→RIの危機感（会員の高齢化、減少）→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？  
RIとTRFの一体化→{いずれライオンズクラブとの合併か？・地域に応じた自治権、裁量権を認める方阿？}
5. これからのロータリーについて
- ・ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観（親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ）は不変
  - ・ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI（多様性、公平性、包摂（生））の提唱
  - ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確（北米の会員の急減が実施の理由か）2つのパイロット地区で実施（2022年4月規定審議会決議）
6. アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか
- 例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ、女性だけのクラブ、若者や老人だけのクラブ等
  - 元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLPの活用

次ページに進む

## WEEKLY REPORT

4. 会員増強  
昨年7名の入会がありました。退会者は実質2名です。退会理由は健康上の理由でした。過去の退会も健康上と一身上の都合が理由になります。今年度は1名入会済みで1名入会希望者があり今承認待ちです。昨年好評だった外部講師の例会を実施し、多くの入会候補者を呼んで会員増強に努めます。
5. 一人ひとりリーダーシップを発揮する  
各委員長はリーダーシップを発揮し委員会を引っ張っています。引き続き委員会活動を盛り上げていってほしいと思います。
6. 地域社会に受け入れられるクラブづくり  
各会員が地域社会の結びつきとしての仕事や町会を通して松戸北ロータリークラブをまずは認識してもらえれるよう行動し、その中でロータリークラブが出来る奉仕活動を見つけられればと思います。
7. 創立50周年記念式典  
50年という節目を迎えこれまで事業を継続できたことに感謝しクラブ内外の人たちと喜びをともにし、さらに社会貢献事業と他の事業の実行、そして我が松戸北ロータリークラブのさらなる発展を期するイベントに向け創立50周年記念式典委員会を立ち上げました。各委員会が企画を練りそれに向かって全会員が一致団結して盛り上げたいと思います。  
以上7項目です。

### < 5大奉仕委員長方針発表 >

クラブ奉仕委員会 柳孝実委員長

今年度クラブ奉仕委員長を務めさせていただいております柳孝実です。

会長・幹事及び傘下の各委員長と緊密な連携を取りながら、会員が出席したくなる例会や入会候補者が入会したくなる魅力あるクラブ作りに貢献することを目標として活動しております。

クラブの目指すべき方向性を共有するため、会長幹事及び傘下の各委員長との会合を開催したいと考えており、現状まだ開催できていませんが、今後開催していきたいと考えております。傘下の各委員会の活動自体はベテランの会員が委員長を務めていただいていることもあり、順調に回っていると感じていますが、会報・雑誌・広報委員会においては会報作成の負担が一人に偏らず平等になるように委員会内で回していただくようお願い致しました。

2016-2017年度までは、地区で「長寿ロータリアン表彰」がありましたが、当クラブで今年度、来年度に米寿を迎えられる会員がいらっしゃり、クラブ内で表彰することを決定しました。

しかし地区でもこのような表彰を復活していただき2790地区とし表彰していただけると会員にとっても一番うれしいのではないかと思います。会員の表彰があるのでみんなが地区大会に行こうという動機にもなると思いますので、復活をご検討いただけると幸いです。



## WEEKLY REPORT

### <ニコニコ委員会>

#### 三村藤明会員

先週は結婚祝いのお花をありがとうございました。また、本日は小倉ガバナー、北クラブにご来訪誠にありがとうございます。

#### 岡本真理子会員

結婚記念のお祝いありがとうございました。5年目に突入しました。前回の例会は人間ドック受診のためお休みいただき、申し訳ございません。皆さまも健康にお過ごしください。

### 中原光男委員



## クラブ協議会

例会終了後、クラブ協議会が開催されました。  
(発表内容は下記の通り)

### <会長方針発表>

#### クラブの現状

会員数36名（内女性会員1名）。過去最高は1988-89年度57名です。年齢別では49歳以下12名、50歳代5名、60歳代9名、70歳以上10名です。当クラブは会員同士年齢に関係なく仲が良く、親睦活動・奉仕活動の理解も有りまとまりがよいクラブです。今年度もなかよし学級の生徒さんとの梨狩り体験、世界ポリオデーの参加では多くの会員の参加がありました。

次に会長としての本年度松戸北ロータリークラブ方針として現状報告致します。

#### 1. 行動計画の策定

会員のアンケート実施し3年計画を作成したいと思っております。会員満足度アンケートは20名の回答を頂いておりますがまだ具体的に進んでおりません。地区のビジョン・戦略計画を参考にして作成を進めたいと思います。

#### 2. メインとなる奉仕活動の決定

9月に栗ヶ沢小学校なかよし学級の生徒さんと市内の梨園で梨狩りを実施しました。なかよし学級の生徒さんがみんな喜んでもらい、そのときの笑顔がとても印象的でした。会員もその笑顔を見て癒やされた奉仕活動でした。来年も継続できるかも含め検討しております。この後社会奉仕員長より発表があります。またパラリンピックを目指している陸上チーム「ダイバシティA.C千葉」への援助を含め応援を続けています。今年は水筒を選手の皆さまにプレゼントしました。コロナも落ち着いたら会員みんなでスタジアムに応援に行きたいと思っております。

#### 3. 会員の親睦を深める

昨年より続いているゴルフ同好会は今年度も引き続き毎月練習会も含め実施しております。また他クラブのゴルフ同好会（松戸中央・松戸西）も交えて3クラブで今月合同練習会を実施し参加者は31名でした。その後の表彰式、打上げ会で他クラブ会員との親睦も大いに深めました。

また「おいしい物を食べよう会」実施しました。多くの会員の方に参加頂き楽しい時間を過ごしました。2回目も実施する予定です。

これから「英語を話そう会」「みんなで走ろう会」等企画をしています。

### 大川高明会長



次ページへ続く

## WEEKLY REPORT

- ①クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定（毎年の見直しとチェック）
- ②会員同士の交流を深める（クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る）
- ③会員の積極的参加を促す（例会、奉仕活動）財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- ④会員の増強（退会防止）若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- ⑤クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- ⑥ITの推進（コロナ禍での例会の在り方を再考する）

#### 7. 最後に

地区戦略計画委員会では、以下のとおり地区のビジョン・戦略計画を策定し、これを10月8日の地区大会において決議いたしました。

#### 【前文】

COVID19はロータリー活動をはじめ全世界の人々に著しい制約を課した。

一方RIは、新たな組織ガバナンス構想を以って、会員減少に対処する方向を模索している。本地区の会員数はここ数年の頭打ちから減少のトレンドにあり、おしなべて奉仕活動に停滞を来している。私たちは、地区内クラブと会員の皆さんと共に、この事態を賢く受け止め、ここに、地区内クラブと地区委員会の声を集約して、ロータリー運動が目指す方向を示し、地区ビジョン・戦略計画を打ち出す。

各位のご協力と、共に立ち上がる決意を促すものである。

### 国際ロータリー第2790地区

### 2022年～25年 地区ビジョンと戦略計画

### 我が地区のリソース

当地区は首都圏の一角にありながら、海岸線等の美しい水辺と緑濃き里山の豊かな自然に恵まれています。東京近郊の都市部と沿岸部に個性の差はあれども、クラブはそれぞれ多様性を発揮して、地域社会のリーダーとして活動し、地区リーダーはロータリーの目的に従って、地域社会と国際社会に良い変化をもたらす活動に取り組んでいます。ロータリアンは、地区ビジョンを共有しクラブ戦略目標に従って、地域社会に元気と勇気を創出します。

### 地区ビジョン

私たちは、ロータリーの「奉仕の理念」に基づき、  
ロータリーを楽しみながら、地域社会でそして世界で、  
持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を実践し、行動していきます。

#### 戦略計画

地区は、クラブを支援するために、以下の戦略計画を実施します。

1. クラブを元気にするために、DEIを尊重し会員基盤を拡充する。
2. 地域社会の将来を担う青少年育成活動に取り組む。
3. 中核的価値観に従って行動し、ロータリアンの公共イメージを向上させる。
4. 地域及び国際社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを創造し、参加者の基盤を広げる。
5. クラブのビジョンと戦略計画の策定を奨励し推進する。